

あいちの印刷

6

2010.6
No.463



北アルプス

もくじ

巻頭言 スローガン「健康な印刷産業をつくる」 ／理事長 高井昭弘	3
平成22年度通常総代会	4
平成22年度事業計画	6
平成22年度5月期理事会 今後の事業日程発表	8
身近な催し物のお知らせ	9
平成22・23年度 愛知県印刷工業組合 執行部及び委員会編制図	10
「2010全日本印刷文化典in岐阜」	11
「GP資機材認定制度」発足	12
情報コーナー「コニカミノルタ グラフィックイメージング(株)」	13
「産業廃棄物管理票」の提出について/ 業界短信／事務局だより	14

巻頭言

スローガン「健康な印刷産業をつくる」

理事長 高井 昭弘

平成22年度通常総代会を5月21日無事終了することが出来ました。これも皆様のご協力の賜と心より感謝申し上げます。

私としても1期2年が終わり、2年間一生懸命組合活動の活性化に努めてまいりましたが、及ばなかった点はお許しいただきたいと思えます。

さて、平成22・23年度につきましても、理事長職を務めよと皆様より選任され、もう1期お引受けすることになりました。組合員の皆様のお役に立つよう努力してまいります。ご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。主役は組合員の皆様であると肝に銘じ頑張ります。

さて、我々印刷業界においては環境が激変し、周知のとおり2008年度の印刷産業出荷額は6兆7,378億円と激減し、急速に印刷市場が縮小しております。この状況下で、刻々と変わる経営環境に対応して生き残るためには、あらゆる努力が必要になってまいりました。今こそ業界が力を合わせ高付加価値化による業界収益構造の改革を行い、収益拡大に結びつけなければなりません。

そんななか2期目の方針につきましても、まず第1に「健康な印刷産業をつくる」このスローガンの基、尽力してまいります。そのためには経営者一人一人の「経営力の向上」が絶対的な条件になります。経営力を向上させ、売上対経常利益率5%以上を目指すための委員会活動を行ってまいります。幸い、今年度全印工連の

経営革新・マーケティング委員会の白田真人新委員長が「印刷産業の経営基盤の健全化」、そのための目標として売上対経常利益率5%として事業方針を立てられました。全印工連と連携しながら活動していきます。

2番目は印刷会館の建替えです。現在の会館は古く、耐震問題を抱えています。10年先、20年先の財政も考えつつ、会館の建設に目途をつけていきたいと思っております。先人から残していただいた組合財産を守り、再構築をしております。

組合財政には皆様の共済へのご加入がなくてはなりません。共済事業は大変重要な事業になります。組合員の皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年はまだひとつ、新しい企画をしました。「第1回ポスターグランプリ」です。高校生、大学生を対象にしたポスター展です。秋に行われるCOP10開催に協賛し、印刷産業、デザイン産業、各高校・大学等との融合と我々印刷業界に必要なデザイナーの育成を目的に開催します。

そのほか業態変革、従業員・家族合同レクリエーション大会、福祉事業、幸せな事業継続、機関誌「あいちの印刷」発行等々、2年間委員会を中心に積極的に活動し、情報を発信してまいります。

重ねて組合員の皆様のご支援とご協力、ご指導の程お願い申し上げます。



紙をクリエイトする

Axuas



Axuasは

自然にやさしい紙の流通を目指します。

再生紙・非木材紙、植林木使用紙、
FSC商品およびECFパルプ製品など、
常に環境を配慮した提案・提供を
推進してまいります。

株式会社 アクスアス

代表取締役 大河内 健二

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

紙営業部 TEL.(052)220-5511 IP電話 (050)3533-5511 FAX.(052)220-5522

包材営業部 TEL.(052)220-5507 IP電話 (050)3533-5612 FAX.(052)220-5517

管理本部 TEL.(052)220-5571 FAX.(052)220-5565

東京洋紙営業所 〒103-0021 中央区日本橋本石町4-5-3 TEL.(03)3242-5561

東京包材営業所 〒130-0021 墨田区緑2-10-13 コーポ今井403号 TEL.(03)5600-3070

Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail info@axuas.jp



通常総代会の様相

スローガン「健康な印刷産業をつくる
—売上対経常利益率5%を目指す—」

経営力の向上のための 各種事業を積極展開

新執行部体制／理事長：高井昭弘 副理事長：木野瀬吉孝、
細井俊男、鳥原久資、岡田邦義（新任）

■活発な事業活動を展開

平成22年度通常総代会は、5月21日(金)午後4時より、名古屋観光ホテルにおいて理事会に引き続き開催されました。

総代会司会は、鳥原久資副理事長が務め、木野瀬吉孝副理事長が開会の辞を述べた後、高井昭弘理事長が挨拶に立ち、平成22年度の総代会出席への礼を述べ、次のように挨拶しました。

「ご承知のごとく21年度は、アメリカの不況から始まりまして、大変な世界的不況に見舞われました。最近では、少し大企業においては立ち直りを見せてきました。そんな中でわれわれ印刷業に目を向けますと、需要の減少と価格破壊、そして、デジタル化、IT化により一層の厳しさが現れているのが現状です。この現状に対応するためには、全印工連・愛印工組などが提唱しております、業態変革の推進がますます重要性を帯びてまいります。私共愛印工組におきましては、“健康な印刷産業にしよう”とのスローガンのもと、21年度は、業態変革のセミナーは勿論ですが、環境、不況対策、マーケティングな



挨拶する高井理事長

どのセミナー、更には、若手の経営者育成のための印刷寺子屋、あるいは、幸せな事業継続、幸せな廃業などを含めて、いろいろ勉強をしてみました。また、従業員の福利厚生などにおきましても、例年になく沢山の方々に喜んでいただきました。

非常に厳しい経済環境ではありますが、皆様のご理解とご協力で、無事21年度を終えることができました。組合員の皆さん、そして、各委員会の皆さん、役員の皆様方に重ねてお礼申し上げます」。

議事に入る前に議長選出が行われ、司会者一任で、総代出席者の中から木村吉伸氏（木村紙商事株）を選任。木村議長から総代会成立の確認がなされ、司会者より総代定数53名、定足数27名の規定のもと、出席50名（うち本人出席28名、委任状22名）により総代会成立が報告され、議案審議に入りました。

▲第1号議案：平成21年度事業報告及び決算関係書類承認の件（報告：村瀬専務理事）

事業報告、収支決算関係について、報告が行われた後、監査報告を前崎弘光監事が行い、承認されました。

▲第2号議案：平成22年度事業計画及び収支予算承認の件

事業計画基本方針を高井理事長、組織・官公需委員会事業を木野瀬副理事長、経営革新・環境委員会事業を佐藤壽記委員長、マーケティング委員会事業を鳥原副理事長、共済・労務、教育委員会事業を岡田邦義副理事長よりそれぞれ説明がありました。事業計画に係る収支予算については村瀬専務理事が行い、承認されました。(事業計画については別項参照)

▲第3号議案：平成22年度経費の賦課及び徴収方法の決定の件（報告：村瀬専務理事）

平成22年度経費の賦課及び徴収方法については、以下の原案通り承認されました。

【賦課方法】賦課金は均等割金額と人頭割金額の合計額とする。

・均等割金額（従業員の規模により定める）：1～5人1,800円／社・月、6～10人2,250円／社・月、11～20人2,700円／社・月、21人以上3,150円／社・月

・人頭割金額（地域区分により定める）：名古屋市内207円／人・月、名古屋市外171円／人・月

・賦課金限度額：1組合員にかかる賦課金総額の上限を年間450,000円とする。

【賛助会費】賛助会費は、1会員、1か月につき10,000円／1口とする。

【徴収方法】賦課金及び賛助会費の徴収は、1年を四半期に分け、各四半期の期首月の末日までに行うものとする。四半期とは、第1四半期（4～6月）、第2四半期（7～9月）、第3四半期（10～12月）、及び、第4四半期（1月～3月）とする。

▲第4号議案：平成22年度常勤役員報酬額承認の件（報告：村瀬専務理事）

「本年度の常勤役員報酬は、前年度と同額にする」旨の説明が行われ、原案通り承認されました。

▲第5号議案：平成22・23年度役員承認の件（報告：村瀬専務理事）

「今回の役員選任は、任期満了に伴うもので、選任役員数は、定款に定められています理事定数33人以上38人以内、監事定数3人以上5人以内ですが、今回、理事候補者38人、監事候補者3人が役員推薦会議で推薦されています」との説明があり、原案通り承認されました。

以上で議事が終了し、次いで別室において、臨時理事会が開かれ、正副理事長等の選出が行われました。小休止の後、総代会後半に移りました。

■経営力アップに重点

総代会後半に移り、来賓を迎えて引き続き鳥原副理事長の司会で、冒頭、平成22・23年度役員紹介が行われ、理事長、副理事長、専務理事が紹介されました（敬称略）。

・理事長：高井昭弘

・副理事長：木野瀬吉孝、細井俊男、鳥原久資、岡田邦義（新任）

・専務理事：加藤修（新任）

本年度の役員改選で、理事38名、監事3名、総代47名が決まり、理事15名、監事1名、総代24名が退任しました。

次いで、高井理事長から来賓への謝辞を次のよう



来賓として出席の青山(右)、浅田(左)、両氏の挨拶

に述べました。

「日本の経済は大変大きな転換期を迎えております。印刷産業も例に漏れず、過剰設備、需要の減少、デジタル化によるメディアの多様化など、構造的な問題を抱えており、激変の時代ではないかと考えております。電子出版一つ取ってみましても、将来、大きな不安要素としてあります。そうした中で私達は、従来の収益構造を見直して、新たな付加価値を提供できる競争力のある業界に、変わっていかねばならないと思います。全国の組合が手を組んで自ら業態変革をしていく、そんな業態変革プランを作り、数年前より活動してまいりました。私共愛知県印刷工業組合も業態変革の推進に取り組んでまいりましたが、過当競争や不健康な現在の印刷業の状態を考えますと、やはり、印刷経営者の経営力のアップというのが非常に大事になります。印刷機が廻っておればよいという時代の経営感覚を捨て、経営力を付け、正しい経営をしていただきたい。こうしたこと強く望むわけですが、そのために、経営者の経営力アップに重点をおいた委員会活動をしていく、その計画を立てております。

また、幸せな事業継続、幸せな廃業についても考えなくてはなりません。例えば、後継者がいないなどの問題で廃業される方々においても、そこには社員もおり、お客さんもみえる。そんな中で、幸せな廃業ができ、また、事業の継続を幸せな形で行える、そんな勉強会を行ってまいります。いままでどちらかといえば、廃業とかM&Aなどという言葉はタブーでしたが、今後は確りと取り組んでいきたいと思っております。

いずれにしましても、現在の不健康な印刷業界では、先がありません。何とかして健康な印刷産業をつくらねばならないと思っております。全国に約30万人の印刷業従事者がいます。産業分類からいきましても27分類ありますが、その中の7番目ぐらいの大きな産業です。それだけに、私としましても貴

任の重大さを感じながら組合運営をしていきたいと思っております。

今後とも、よろしくご指導とご協力をいただきませうようお願い申し上げます」。

次いで、来賓紹介が行われ、来賓挨拶では、中部経済産業局産業部青山一郎流通・サービス産業課長、愛知県産業労働部浅田功産業労働部次長から祝辞が寄せられました。

祝電披露の後、岡田副理事長の閉会の辞で、総代会を終えました。

■懇親会で情報交換と親睦

懇親会は愛知県印刷工業組合、愛知県印刷協同組合合同で開かれました。岡田副理事長の司会で始まり、白井協同組合理事長、高井工業組合理事長が挨拶

を。特に、白井協同組合理事長は、「愛知県印刷会館の竣工に向け建設委員会が立ち上がりました。是非実現させたいと思います。よろしくご協力をお願いします」と力強く述べました。次いで、退任役員・総代に感謝状の贈呈が高井理事長より行われ、退任役員を代表して西森鷹雄前東北支部長（株活英社）が退任挨拶を行いました。

乾杯の発声を愛知県中央会小山保正事務局長が行い懇親の宴に入りました。途中、塚本久愛知県議会議員（愛印工組顧問）のお祝いの言葉があり、約1時間半にわたり情報交換と親睦の和を広げる中で、木野瀬副理事長の中締めでお開きとしました。

（編集部：来賓として出席いただきました中部経済産業局青山一郎、愛知県産業労働部浅田功両氏の挨拶は、紙面の都合で来月号に掲載します。）

刷産業をつくる」、そのために「売上対経常利益率5%を目指す」をスローガンに、経営の向上を目指し、各種事業を行ってまいります。組合員の皆様がこの活動を活かし、自分自身の発展と収益拡大に邁進していただければ幸いです。

また、もう一つの課題は、先人に残していただいた組合財産の再構築です。印刷会館問題です。今年度中には是非解決したいと考えております。

委員会体制も刷新しました。一人でも多くの組合員の方々に組合事業に参加していただけるよう、事業計画を立て、委員会事業を実施邁進していきます。

本年秋には、「2010全日本印刷文化典in岐阜」が岐阜市で開催されます。そこからはいろいろな情報が発信されます。是非、多くの方々の参加をお願い致します。

今年度の主な活動方針を以下のとおりとします。経営力のアップ マーケティング、業態変革、環境問題、生産性アップなどの教育セミナーの開催

- ・技能検定・試験の実施
- ・従業員・家族合同レクリエーション大会、各種共済保険などの福利厚生事業の実施
- ・組合財政基盤の強化のための取り組み
- ・愛知県印刷会館の建設

平成22年度事業計画

基本方針／組織・官公需委員会事業／経営革新・環境委員会事業／マーケティング委員会事業／共済・労務委員会事業／教育委員会事業／建設委員会事業

(1) 基本方針

我々印刷業界における環境が激変し、周知のとおり2008年度の印刷産業出荷額は6兆7378億円と激減し、急速に印刷市場が縮小しております。この状況下で、刻々と変わる経営環境に対応して生き残るためには、あらゆる努力が必要になってまいりました。今こそ業界が力を合わせて、高付加価値化による業界収益構造の改革を行い、収益拡大に結び付けなければなりません。

今年は、全日本印刷工業組合連合会も愛知県印刷工業組合も役員改選の年にあたります。私達、愛知県印刷工業組合は、新しい副理事長、新しい委員長を迎え、新執行部がスタートします。「組合員のために、印刷業界のためにお役に立つ」をモットーに、今年度も「健康な印

同業者のための印刷工場

◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました
—0.04mmの薄紙から0.8mmまでの厚紙まで—

◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
◎菊全シルバーマスターでの印刷もできます

印刷から製本・発送まで自社一貫体制

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461代

豊田工場 豊田郡幸田町大字坂崎字石ノ湯46-1 FAX:0564)62-8463
http://www.sk2.aftai.ne.jp/~daiichi/ E-mail:mail@p-daiichi.com

お役に立てる印刷機材の総合商社

創業1889年の盛功社は2009年、120周年を迎えます。
3世紀にわたるご愛顧をはずみとして新たな未来へ—

●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●その他印刷諸材料

盛功社は120年
株式会社 **盛功社**

〒461-0014 名古屋市中区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280

- ・「幸せな事業継続」の勉強会
 - ・学生を対象としたポスターグランプリの開催
 - ・機関誌「あいちの印刷」を引き続き発行し、有益な情報の提供
- 以上のように、積極的に各委員会が活動し、また、情報発信してまいります。

(2) 事業

【組織・官公需委員会事業】

印刷業界は、日進月歩の日まぐるしい技術革新が続く、近年ではデジタル技術が全面的に導入され、印刷業界の生産技術、生産方式、生産効率も大きな変革を遂げましたが、経営環境の激変、産業構造の変革が進んで、国の中小企業施策も個別企業の自立支援へと大きく方向転換し、印刷情報産業として抜本的な対応を進められています。このような時にこそ、組織の強化と組合員相互の交流が大切であると考えております。組織の維持拡大もさることながら、それぞれの組合員企業が自社の強みを発揮し、適正な収益確保ができるよう企業経営に必要な情報・資料を提供いたします。

本年度から岐阜県において最低制限価格制度が導入されます。また、宮城県では、最低制限価格を全入札参加者の平均額の85%とするという画期的な事例も生まれました。それらの事例を参考に、県に対して、印刷物入札の最低制限価格制度導入の働きかけと、電子入札時の積算書添付の義務付けと併せて、実施を求めています。

更に、「メディア・ユニバーサルデザイン」の官公庁の取り組みを検証し、印刷業界が指導できるよう、組合員に対して啓発活動を展開していきます。

A) 組織事業

①全印工連、その他関係機関や諸団体からの関係情報の収集と提供、②支部事業の積極的支援、③将来の組合のあり方の検討、④「あいちの印刷」の継続発行、⑤組合ホームページによる情報提供、⑥各委員会の事業推進に関する組合員へのより積極的な広報活動、⑦愛知県印刷産業団体連絡会及び関係諸団体との緊密な連携のもと新年互礼会などの実施

B) 官公需対策事業

①岐阜県を始め全国都道府県の官公需対策事例の情報を得る、②官公需要望書の作成、③印刷物の発注価格の

見直しなどを要望する

【経営革新・環境委員会事業】

これまでの経営革新委員会と環境委員会の各事業を中心にを行います。先進企業見学会、事業継承に関する勉強会など、現在から未来に向けての各社の事業展開を考える機会を提供してまいります。

今年度の前半には、COP10に協賛する事業「ポスターグランプリ」を中心に活動し、それに併せて「グリーンプリンティング認定工場」の取得の推進、経営・環境をテーマにした各種セミナー、他委員会と連携を取りながらの「印刷寺小屋」の開催などを通じ、経営・環境に関する各種情報の発信に取り組んでまいります。

①経営革新セミナー及び環境セミナーの開催、②先進企業見学会の実施、③「印刷寺小屋」の開催（マーケティング委員会及び教育委員会と協力）、④事業継承に関する勉強会開催、⑤ポスターグランプリの実施、⑥グリーンプリンティング（GP）認定工場制度の周知、⑦企業経営に関する各種情報の発信、⑧印刷産業における環境に関する各種情報の発信

【マーケティング委員会事業】

情報産業の中核にあり、文字と色と情報を扱う印刷業者として取り組むべき課題である「メディア・ユニバーサルデザイン」についての知識を深めるためのセミナーを開催し、社会に必要とされる業界を目指します。また、印刷会社としてWEBに関わるにはどのような事業展開をするべきかなど、マーケティングのあり方を追求し、組合員への情報発信に務めるとともに、「業態変革実践プラン—全印工連2010計画—」の啓蒙、啓発に取り組み、業界のレベルアップを目指します。

①メディア・ユニバーサルデザインセミナーの開催、②マーケティングセミナーの開催、③印刷会社としてのWEB展開及び電子書籍についての研究・勉強会の実施、④全印工連2010計画のより一層の周知活動、⑤「PRINTZOOM」の購読推進、⑥印刷寺小屋の開催協力、⑦マーケティングに関する各種情報の発信

【共済・労務委員会事業】

今年度から組織事業が独立し、共済事業と労務事業に専従することになりました。そのような環境の中、組合員企業が加入したい保険企画商品の提供を通じて、昨年度にもまして組合員企業各位の福利厚生と共済の充実を図るための企画と提案を行います。

また、恒例になっております従業員・家族合同レクリエーションが沢山の組合員の参加を促す行事になるよう工夫をしたいと存じます。

A) 共済事業

①生命共済制度、②経営者退職功労金制度、③災害補償共済、④総合設備共済制度、⑤医療共済制度（以上、全日本印刷工業組合連合会）、⑥貯蓄共済保険、⑦経営者保険（以上、大同生命保険株）、⑧がん保険（医療

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社
メイカミ
名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221代 FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049

サービス(株)、⑨愛知火災共済(愛知火災共済協同組合)、⑩中小企業PL保険制度、⑪個人情報漏えい賠償責任保険(以上、愛知県中小企業団体中央会)、⑫中小企業共済(愛知県中小企業共済協同組合)、⑬自動車事故見舞金共済(愛知県商工共済協同組合)、⑭契約福利施設(中日典礼(株)、東海典礼(株)、(株)一柳葬具総本店)

B) 労務事業

①従業員・家族合同レクリエーション大会の実施、②永年勤続従業員表彰の実施、③鉛・有機溶剤取扱者健康診断の実施、④労働関係法規、従業員の福利厚生に関する事項の周知、啓蒙

【教育委員会事業】

昨年同様、印刷技能検定オフセット印刷作業実技試験、組員受験者の学科試験の合格率向上のための対策学習会、新入社員教育セミナー、営業者・技術者向けセミナーなどを開催し、全組員、従業員の皆さんの資質向上及び人材育成と自己啓発を目的とした事業を実施します。

印刷技能検定では、本年度から実技試験の全日程を(株)桜井グラフィックシステムズ様の岐阜工場において実施させていただくことにより、試験環境の平等性をより高く図ることができるようになりました。また、製版技能検定DTP作業実技試験実施の検討、Japan Color認証制度の周知、そして、23年度からの技能検定試験内容の変更(予定)への対応など、印刷技能・営業環境の変化に伴い、企業経営の最重要課題である人材育成を取り入れた事業展開を目指してまいります。

①印刷技能検定オフセット印刷作業実技試験及び採点の実施、②印刷技能検定オフセット印刷作業学科試験対策学習会の開催、③教育セミナーの開催、④新入社員教育セミナーの開催、⑤製版技能検定DTP作業の実施検討にあたっての調査など、⑥印刷寺小屋の開催協力、⑦印刷技術、従業員教育に関する情報の発信

【建設委員会事業】

愛知県印刷会館の新築についての検討を進めます。



理事会の様相

従業員・家族合同レクリエーション大会

9月26日(日)赤沢自然休養林ウォーキング(長野県)

平成22年度5月期理事会は、5月21日(金)午後3時から名古屋観光ホテルにおいて、平成22年度通常総代会に先立って行われました。

理事会は、村瀬誠専務理事の司会で、冒頭、高井昭弘理事長が「本日は理事会、通常総代会、そして、懇親会と長丁場ですが、よろしくお願ひします」との挨拶の後、村瀬専務理事の議案説明に従い議事が進められました。

【議事内容要旨】

- ①組員加入・脱退の件
新規加入事業所として、(有)尚友社製本所(富田和典代表者)の加入を報告。脱会はなし。これにより組員総数は300社となった。
- ②平成22年度通常総代会提出議案について
1)平成21年度主要実績、2)平成22年度主要計画、3)平成22年度執行部及び委員会編制図(案)。
- ③平成22年度通常総代会の運営について
②、③の事項について説明がされた後、いずれも承認された
- ④今後の事業など日程について
事業などの日程は以下のごとく決まりました。

▲愛知県印刷工業組合平成22年度通常総代会
日時：平成22年5月21日(金) 場所：名古屋観光ホテル
▲印刷寺子屋(第1回)
日時：平成22年6月14日(月)19:00 場所：愛知県印刷会館 講師：高原淳氏(ソーゴー印刷(株)代表取締役、帯広市) タイトル：「同質化競争の現状を打開する異質化戦略」～「超長期化ビジョン」と「人財の異質化」が業態変革の鍵～

▲平成22年度「鉛・有機溶剤取扱者健康診断(前期)」(全国印刷工業健康保険組合東海支部との共同事業)
日時：平成22年4月～9月頃 場所：受診申込の各事業所 申込締切：平成22年3月31日(木) 申込数：26名/5社(鉛1名、有機溶剤25名) 委託先：(株)オリエンタル労働衛生協会

- ▲平成22年度技能検定試験
(1)実技試験 日時：7月10日(土)、11日(日)、24日(土)、25日(日) 場所：(株)桜井グラフィックシステムズ岐阜工場 受験者数：1級20名、2級12名、合計32名(定員32名) 締切済み
(2)学科試験 日時：平成22年8月29日(日)午後、場所：大同工業大学(予定)、受験者数：1級10名、2級21名、合計31名(定員なし) 締切済み
(3)受験手数料 1級：学科試験3,100円、実技試験16,500円(実技試験負担金7,875円)、2級：学科試験3,100円、実技試験16,500円(実技試験負担金6,825円) 合格発表：平成22年10月1日(金) 合格証交付：平成22年12月中旬頃
(4)学科試験対策学習会 日時：平成22年8月28日(土)午後 場所：ウインクあいち 参加費、定員：調整中 講師：1級クラス/古田正宏氏(株)近藤印刷工場長1級技能士)、2級クラス/成田祐司氏(株)ミツモリ取締役1級技能士)
▲中部地区印刷協議会上期会議
日時：平成22年6月18日(金)～19日(土)、場所：ホテル日航金沢(金沢市)
▲平成22年度従業員・家族合同レクリエーション大会
日時：平成22年9月26日(日)、場所：赤沢自然休養林ウォーキング(長野県)

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
7月10日(土)～25日(日)	事業・行事	技能検定 オフセット印刷作業実技試験 7月10日(土)・7月11日(日) 7月24日(土)・7月25日(日)
	ところ	(株)桜井グラフィックシステムズ岐阜工場 受験者：1級12名・2級20名 ※受験申請受付は終了しました
7月中旬	事業・行事	印刷寺子屋(第2回)
	ところ	愛知県印刷会館 ※詳細調整中
8月28日(土)13:30～16:30	事業・行事	技能検定 オフセット印刷作業 学科試験対策学科学習会
	ところ	ウインクあいち ※詳細調整中

●身近な催し物のお知らせ(関係団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
6月18日(金)～19日(土)	事業・行事	中部地区印刷協議会 上期会議
9月28日(火)10月3日(日)	事業・行事	第1回 ポスターグランプリ
	ところ	電気文化会館 5階西ギャラリー 応募期間：8月23～31日 詳細については、近中に愛知県印刷工業組合ホームページをご覧ください。

▲平成22年度優良従業員表彰式
日時：平成22年11月1日(月)、場所：申請事業所
▲平成23年印刷と関連業界新年互例会
日時：平成23年1月14日(金)、場所：名古屋東急ホテル
▲中部地区印刷協議会下期会議
日時：平成23年2月18日(金)～19日(土)、場所：キャッスルプラザ(名古屋市)
■村瀬専務理事退任/後任に加藤修氏が就任
理事会終了後、高井理事長から5年の長期にわたり愛印工組専務理事として務めた村瀬専務理事が退任し、後任として加藤修氏が就任することが報告されました。加藤新専務理事は、愛知県産業労働部高浜高等技術専門校勤務を経ての就任になります。

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ製造株式会社 www.toyoink.co.jp

中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

なぜ、人材派遣はモトヤ？

それは、印刷関連業務に特化した人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...

■ 派遣職種 ■

- コピーライター ● デザイナー ● WEBデザイナー
- DTPオペレーター ● スキャナーオペレーター ● CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ● 校正 ● 印刷進行管理者 など全般

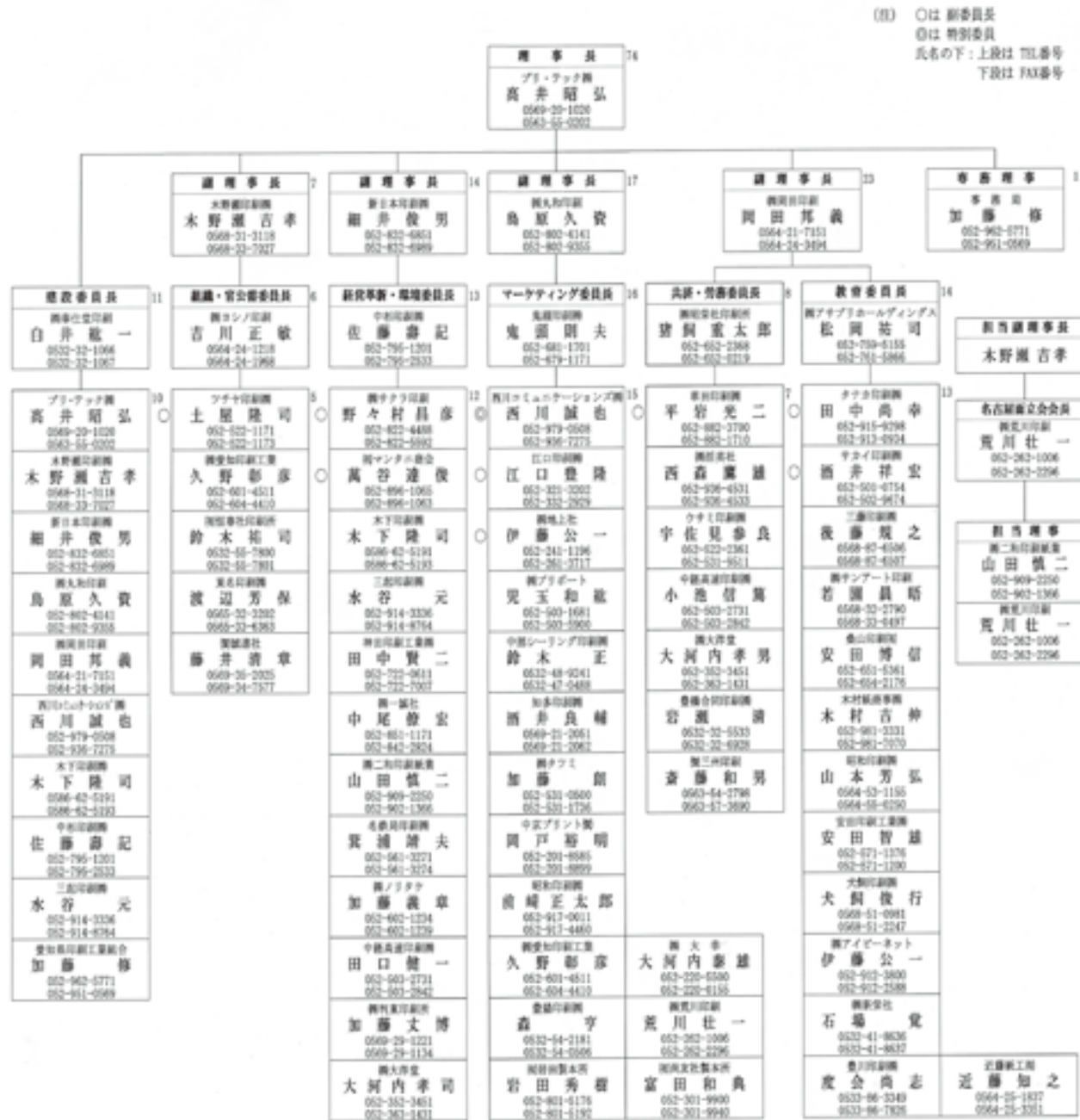
業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合会社を目指す

http://www.m-job-navi.com/

http://www.motoya.co.jp/

モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315 名古屋 〒461-0035名古屋市東区黒門町128 ☎(052)935-5315
モトヤ人材派遣部 大阪 ☎(06)6261-1941 大阪 〒542-0081大阪市中央区南船場1-10-25 ☎(06)6261-1931
モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719 東京 〒104-0032東京都中央区八丁堀4-5-5 ☎(03)3523-8711
派遣事業許可番号 般 27-030254/紹介事業許可番号 27-ユ-030174 横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡

平成22・23年度 愛知県印刷工業組合執行部及び委員会編制図



●皆さんの参加で盛り上げましょう!
「2010全日本印刷文化典 in 岐阜」

キャッチフレーズ
乱世を生き抜く!! 「信長の革新性に学ぶ」

全日本印刷工業組合連合会、中部地区印刷協議会、岐阜県印刷工業組合主催による「2010全日本印刷文化典in岐阜」が、平成22年10月15・16日の両日、岐阜市の岐阜グランドホテルにおいて開催されます。隣県での開催ですので、愛印工組からの多数の参加が要請されていますので、是非、ご参加ください。

大会を担当する岐阜印工組四橋英児実行委員長は、「経済状況は厳しい折ですが、『乱世を生き抜く!! 信長の革新性に学ぶ』のキャッチフレーズの下、業態変革を続ける全印工連らしい大会にしたいと思います」と意気込みを語っています。

大会日程

大会の会場は、岐阜市長良川沿いの「岐阜グランドホテル」で、大会日程は次のようになります。

- 平成22年10月15日(金)
 - 受付：13:30～ 記念式典：14:30～15:20 全印工連メッセージ15:30～16:30 記念講演会：16:50～18:10 記念懇親会18:30～20:30
- 平成22年10月16日(土)
 - 全印工連理事会：8:00～9:00 全国事務局研修会8:00～9:00 全印工連フォーラム9:30～12:00 解散・エクスカージョン出発12:00～
 - 〈主な公式行事〉
 - 全印工連メッセージ・フォーラム
 - ネット社会、情報洪水、成熟化とか速度を増して

変化する社会環境の中、今、印刷業界には新しいチャレンジが求められています。水上光啓会長を中心とする印刷産業の可能性を示す熱いメッセージの発信と、今後向かうべき方向性を考えるフォーラムを開催します。

- 記念講演会
 - 演題「乱世を生き抜く!! 「信長の革新性に学ぶ」織田信長のリーダー像を紹介する
 - 講師：小和田哲男氏（静岡大学名誉教授）
- 記念懇親会
 - 美濃・飛騨の食材をふんだんに取り入れた料理でおもてなしをします。
 - 〈エクスカージョン〉
 - Aコース／織田信長を訪ねて（岐阜城・金華山）
 - Bコース／郡上八幡と美濃和紙（うだつの上がる町並み散策）
 - Cコース／刃物の町・関市と航空産業の各務原へ

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



SHINOHARA 75VIHP

篠原商事株式会社 株式会社篠原鐵五所
 本社 〒421-1222 静岡県静岡市葵区産女1022
 TEL(054)276-2008 FAX(054)276-2010
 名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147
 TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

コニカミノルタに全てお任せください。

色校正フルラインアップ!



Digital Consensus Premium Ultimate Edition
 Falbard AQUA 新発売
 Pagemaster Pro 5500N

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社 中部営業部：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル10F TEL.052-231-6277(代)

「GP資機材認定制度」発足

7月から本格実施 初回は「洗浄剤」「エッチ液」が対象

(社)日本印刷産業連合会(山口政廣会長)は、グリーンプリンティング(GP)認定制度の一つとして、グリーン基準に適合したGPマークを表示することのできる「GP資機材認定制度」を創設した。6月までの期間中は無料施行期間として意見を反映し、7月から本格的な実施に入る。なお、初回は「洗浄液」、「エッチ液」を認定対象としており、対象製品は順次拡大していく。

認定機材はweb上で公開

今回創設されたGP資機材認定制度は、印刷会社が購入する印刷資機材の環境配慮が一目でわかり、容易に資機材の選択ができるようにするためのもので、資機材メーカーの幅広い参加を期待している。これにより、環境配慮製品の普及とGP認定工場の活動の容易性を図るのを主眼としている。

GP資材認定制度に賛同したメーカー及び資機材業者は、データベースに登録し、誰でも閲覧可能な状態でweb上に公開する。ここでは、印刷機資材の種類別に、環境負荷(資源有効活用、有害物質管理、VOC削減、3R推進)などの内容を一覧表

示す。現在の種類は洗浄剤(ローラー、ブランケット、水防洗浄液)とエッチ液で、次の時点では、製版関連資機材を予定している。GP認定工場及びGP認定申請工場は、web上からGP資機材認定証明書や各メーカー発行の証明書を取得できる。

印刷機資材のGP認定の流れとしては、①資機材メーカー登録申請(申請書をGP認定事務局まで郵送)→②登録通知(登録費請求、製品登録、各種書類の送付)→③製品登録申請(GP資機材登録申請フォーマット、達成点数、証明書類などを送付)→④製品認定審査(GP認定事務局による申請書類のチェックGP認定委員会による内容の審査)→⑤製品登録・認定証明書の発行(GPマーク送付)→⑥GP資機材認定製品一覧のweb掲載。

企業登録は年1回、年度末に自動更新する。登録内容に誤りがあった場合は、修正又は取り消しを行い、

悪質な場合には、企業登録を抹消の上公表する。

印刷機資材へのGPマーク表示は、スリースター制度で環境配慮度合いを3段階で表示する。グリーン基準の達成点数により星の数を決める。必須項目はそれぞれ1点とし、どれか一つでも達成していない場合は認定がされない。星の数が多いほど環境配慮度合いが高くなる。GPマークの下には各資機材の固有番号が入る。

印刷機資材メーカーの登録費は、1口10万円で年度末まで有効。口数によって登録できる製品の上限が決まっており、洗浄剤及びエッチ液の場合、1口で10点まで、2口で30点、3口で50点、4口以上は1口増えるごとに20点増となる。資機材のタイプごとに登録できる製品数は変わる。

印刷機資材メーカーのメリットとして環境配慮型製品の信頼性の向上や販売促進が挙げられる。また、webからダウンロードできるため、個別証明書の発行が不要になる。

日印産連では、毎月GP認定工場に発行しているGPニュースによる情報発信や年4回開催されるGP工場交流会での情報発信など、該当製品の販売促進につながる活動を展開していく。



情報コーナー

コニカミノルタ グラフィックイメージング(株)



カラーブルーフソリューション

色校正でお困りですか？

「コニカミノルタに全てお任せください」

印刷物制作における色の品質管理は、様々な無理・無駄を排除し、利益を創出するといっても過言ではありません。そしてその中心となるのが「色校正」です。現在、様々な色校正手段がありますが、印刷品目や用途は勿論のこと、予算や納期などによって、最も適切で効果的な色校正手段を選択することが重要です。コニカミノルタは、的確に色校正が選択できるよう用途に合わせた3つの製品をラインアップしました。求められる色校正に対して最高のパフォーマンスでお応えします。

ラインアップ3製品

印刷機長も認めるプロ用本格色校正

「Digital Konsensus Premium Ultimate Edition (デジタルコンセンサスプレミアムアルティメットエディション)」

【ポイント】●最高水準の色精度・色安定性の印刷見本、●外注校正刷りの内製化、●コストダウン、●CUD(カラーユニバーサルデザイン)の見える化で発注者へ新提案、●本物の網点と高生産性の両立。

【主な特色】①2400×2400dpiの高解像度・ベタ濃度可変技術、さらに、微細ドットの忠実再現で175Lの網点はもちろんのこと、FMスクリーンや高精細の色校正環境までも構築できる。②印刷物は、インキトラッピング現象やドライダウンなどにより、ベタ部と網点部の濃度や色相が異なっているが、網点部とベタ部を完全独立制御することで、この現象をデジタルで網羅。また、印刷本紙の紙白や質感(ザラツキ)までも再現し、限りなく実際の印刷物に近づける。③デジコンプレミアムは、印刷物が色覚障がいの方にどのように見えているかを、ダイレクトにシミュレーション出力できる。

お手軽なインクジェット色校正

「Falbard AQUA (ファルバード アクア)」

【ポイント】●高精度カラーマッチング、●擬似網点再現、●高彩度インキ印刷対応。

【主な特色】①1bit TIFFをデスクリーニング処理しないため、高品質な擬似網点で再現。②ターゲット印刷

物に対して、ウィザード方式による数回のフィードバックにより高精度のカラーマッチングが実現できる。③Falbard AQUAの性能を最大限に引き出す、水性インクジェットブルーフ用コート紙採用。④操作画面は使い勝手を重視し、標準webブラウザを採用。始めてでも簡単に操作できる。

A3ワイド高速カラーカンブ

「Pagemaster Pro 5500N (ページマスター プロ)」

【ポイント】●新デジタルトナーで印刷レベルの色再現、●ハイエンドDDCPのCMS技術を活用、●ワイド出力サイズ、●CTP用RIP済みファイルの出力、●優れた実用性。

【主な特色】①新デジタルトナーでオフセット印刷と遜色ない色域。②ハイエンドDDCPのCMS技術を活用したカラーマッチング。③A4トンボ付×2面分に相当する出力サイズを実現。④CTP用RIP済みファイルの出力が可能。⑤油分を使わないオイルレス定着技術により、不要な光沢感を抑えた印刷物に近い風合いを実現。カラーカンブ用には必須である筆記性、ポストイット・セロテープなどの貼付けにも適した優れた実用性がある。

コニカミノルタでは、「ワンストップのサポート体制」を採っております。デジタルブルーフのノウハウを蓄積したサービスマンが、お求めいただきましたデジコン、ファルバードアクア、ページマスタープロをワンストップでサポート致します。



KONICA MINOLTA

<http://mgj.konicaminolta.jp>

コニカミノルタ グラフィックイメージング(株)中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15三井住友海上名古屋ビル10F TEL052(231)6277

OLIVER496SD

菊全判4色
印刷機

大型多色SDシリーズ 第一弾

オールインワン
最新自動化設備 完全装備



最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社 〒135-0032 東京都江東区横住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2681

大阪営業所 〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

ISO 9001・14001 認証取得
環境対応企業

業界短信

■「第41回技能五輪国際大会」来年10月にロンドンで開催

第41回技能五輪国際大会が2011年10月4日から9日まで、イギリス・ロンドンで開催される。

オフセット印刷機種の国内選考会は今年8月下旬から9月下旬にかけて予定されており、現在、出場競技者を募集している。

【応募要領】

①応募資格/1)日本国籍を有する者、2)日本印刷産業連合会会員10団体加盟企業の従業員及び印刷関連教育訓練校の在校生、3)2011年12月31日現在年齢が22歳以下であること、4)過去に技能五輪大会の同一職種に参加していない者。

②応募について/1)企業又は学校単位での申込み、2)1企業・学校からの応募者数は3名まで、3)応募者ごとに所定の応募書類を1通提出、4)受験料は無料

③応募締切/平成22年7月16日(金)必着

④問い合わせ先/社日本印刷産業連合会技能五輪大会係、TEL03(3553)6051。※応募書類は連合会ホームページからダウンロード可能(<http://www.jfpi.or.jp/>)

■宅急便取扱い個数連続増加

ヤマト運輸が発表した3月の「宅急便」取扱い個数が1億302万8,062個となり、前年比11.0%増となった。「企業間でのサンプルや部品などのやり取りする動きが戻り、個人中心の通販などの利用客が増えたため」と分析している。カタログなどを主に送るクロネコメール便は、2億118万5,796冊、前年比4.5%の増。宅急便とメール便を合わせた小口貨物全体の取扱い個数は、3億421万3,858個、同6.8%の増。

宅急便の2009年通年の取扱量は12億6,259万8,371個、2.4%増となった。

事務局だより

■桜の花が長持ちし、桜見物が何度も行えたのは良かったが、何時までも寒さが続いたのには閉口しました。6月号がお手元に届くころには猛暑になっているかもしれません。■今

「産業廃棄物管理票」の提出について

愛知県環境部資源循環推進課からのお知らせ

■平成22年度産業廃棄物管理票の交付等状況報告書の提出方法
愛知県（名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市を除く）の係る「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」については、平成22年6月30日までに、下記の留意事項に従って提出してください（名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市は、各市の廃棄物対策担当課にお尋ねください）。

【報告対象者】

産業廃棄物の収集運搬及び処分を委託する際に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付した排出事業者（中間処理後の産業廃棄物を処分するために、二次マニフェストを交付した産業廃棄物中間処理業者を含む）が報告対象者になります。

【報告書の作成方法】

報告書の様式、報告書に関するQ & Aなどについては、下記アドレスよりダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/sigen-ka/jigyo/todokede/shinsei/index.html#11>

【報告書に関する問い合わせ先】

電話番号0120-007-624（コールセンター）4月から6月の午前9時から午後5時まで。但し、土曜・日曜・祝日は除く

【提出先】

(1)書類で提出の場合

原則として、下記の委託業者宛、報告書を1部郵送してください。

▼〒450-0002名古屋市東区名駅4-5-28近鉄新名古屋ビル17階
株式会社バルシステム24中部支店産廃報告書受付係

（※県庁及び最寄りの県民事務所などへ持参された場合は、一旦上記の委託業者に転送させていただきます。）

(2)電子媒体で提出の場合

愛知県ホームページのオンラインシステム欄の「電子申請システム」を利用し、作成した「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」のExcelファイルを添付して提出ください。

電子申請システムでの報告先は、当該事業場を所管する県民事務所などの廃棄物対策課となります。

電子申請システム：<http://www.pref.aichi.jp/homu/denshishinsei/>

月号は、平成22年通常総代会が中心になりました。高井理事長のもと、新たなスタートを切りました。ローガンは「健康な印刷産業をつく

る」です。活力ある印刷業界にするには、皆様方のご協力がなくてはなりません。よろしくご願い申し上げます。

あいの印刷

No.463

平成22年6月10日発行

発行人 高井 昭 弘

編集 組織・官公需委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 〈052〉962-5771

FAX 〈052〉951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp